

エフコープ生活協同組合 代表理事 理事長

つみ しんご
堤 新吾さん



太宰府市には筑紫地区・朝倉地区の組合員約6万人の生活を支える事業拠点があり、当組合にとって重要な地域です。コロナ禍において「安心して暮らす」ことの大切さが再認識される中、昨年10月に太宰府市さまと包括連携協定を締結させていただきました。

協定を機に市民のみなさまの健康増進と地域産業の活性化を目的として太宰府市民の森にルートマップや生物観察用ルーペ等の整備事業を進めてまいりました。四季折々の自然を感じながら歩き、リフレッシュしていただく場として多くの方々にご利用いただけたら幸いです。

さらに今年6月には市制施行40周年の記念事業として太宰府市の史跡地や市民の森を巡る「コーすけウォーキング太宰府」を開催しました。想定以上の参加者の多さに驚き、改めて歴史・文化・自然が融合した太宰府のポテンシャルの高さを感じました。

今後により一層連携を深め、太宰府市の健康で暮らしやすいまちづくりに貢献してまいります。

特集

太宰府市立中学校完全給食について 4~5

【表紙関連】
支え合い、すすめよう地域福祉 6~8

【表紙関連】さあ、協働を進めよう 9

新型コロナウイルスワクチンの接種について 10

フードトラック社会実験！出店募集 11

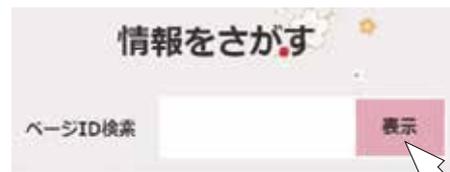
市からのお知らせ 12~19

連載 20~26

なんでも情報コーナー 27~35

太宰府の文化財 36

記事ページをホームページで検索！



広報だざいふの記事にある最大7ケタのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

市政ニュース

団体からの寄附 ウクライナ避難民学生支援

本市では、日本経済大学が行うウクライナからの避難民の学生受け入れに賛同し、義援金の受け付けを行ってきました。

皆さんの協力により多くの義援金を集めることができました。ありがとうございました。

なお、本市が行う義援金の受け付けは終了しましたが、日本経済大学による「ウクライナ避難民学生支援基金」は引き続き募集しています。

太宰府高校から寄附

福岡県立太宰府高等学校の生徒たちからの寄附金と同校教育振興会からの寄附金を6月17日(金)、楠田市長が受け取りました。

生徒たちは、例年、同校の文化祭「飛梅祭」で行うバザーなどの売上げを地域貢献に活かしてほしいと寄附を行っています。本年は、芸術科が書道作品などを販売し生徒会で募金活動を行い、寄附金を集めました。

生徒会長で3年生の張本健太さんは「ニュースを見ても実感が湧かなかつたが、飛梅祭でウクライナの避難学生と交流することで影響の大きさを感じた」と話しました。



太宰府高等学校の皆さん

音楽教室 LaLa シンフォニーから寄附

本市にある音楽教室LaLaシンフォニーに通う中学生の生徒たちからの寄附金を6月24日(金)、楠田市長が受け取りました。

5年前、当時小学生だった生徒たちは、黒海そばにある小さな共和国で現地の人とともに演奏し交流しました。今回のウクライナ侵攻で苦しむ人たちを思い、生徒たちが自らバザーやチャリティコンサートを企画して寄附金を集めました。

生徒たちは「太宰府で過ごすウクライナの避難学生に安心して生活してほしい」「言葉は通じなくても、音楽で思いは通じる」と話しました。



中学生の皆さん